

研究についての説明書

「総合診療医が組織や地域の多職種に対して担う役割と行動の探索」

【研究背景と目的】

総合診療医は患者だけでなく、家族や社会環境、そして自らの役割や環境の複雑系を扱う専門家といわれています。しかし、総合診療医が自身の複雑な役割を明示化することは困難な場合が多く、これらの役割を明らかにするためには、包括的、規範的といった様々な視点をもつ調査研究が必要となります。

本研究は、医療専門職である研究者と文化人類学者がペアとなり、総合診療医が勤務する施設や総合診療医の診療業務、また多職種等との関わりについてフィールド調査を行い、必要に応じてインタビューさせていただきます。それにより、総合診療医は組織や地域の多職種に対してどのような役割貢献をし、周囲にどのような影響を与えているのかを明らかにしたいと思っています。

【研究にご協力頂きたい方】

病院や診療所に勤務する総合診療医または総合診療医に関わる多職種の方々

【研究の方法】

医療専門職である研究者と文化人類学者により、総合診療医が勤務する施設において、総合診療医・その他の職種を対象にフィールド調査やインタビューをさせていただきます。その後、フィールド・ノートやインタビューデータをもとに研究者が分析いたします。

【研究対象者の自由意思による同意、個人の人権擁護】

本研究は、いかなるときも協力を頂く皆様の自由意思による同意により実施させていただきます。また、研究協力への同意は、フィールド調査をもとに作成したフィールド・ノートを電子化するまでの1週間以内であれば自由に撤回することができ、同意しない場合や同意や同意を撤回した場合でもいかなる不利益を受けることはありません。得られたデータは、研究代表者（後藤亮平）が筑波大学内の鍵付き書棚に施錠して保存します。データ分析は、筑波大学にて行わせて頂きますが、その際は匿名化したデータを用いますので個人が同定されることはありません。

この研究は、筑波大学医学医療系医の倫理委員会の承認を得て、皆様に不利益がないよう万全の注意を払って行われています。

実施責任者：筑波大学 医学医療系 後藤 亮平
